

餘慶寺の鐘を撞き、
除夜の鐘を奏でましょう。

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(恵亮院藏)

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺

〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187

納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187

恵亮院 TEL/FAX 086-942-3788

本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823

吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789

定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490

明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069

圓乗院 TEL 086-942-2356

ホームページアドレス <http://www.yokeiji.com/>

ひとくち法話

『準備をする』

何かをする時、準備は必要不可欠です。旅行に行こうと思えば、持ち物や移動手段、宿の手配などがありますし、会議をするとなると、場所の確保や資料作成、プレゼン練習など例を挙げ出すと数多くの準備を経て物事は成り立っているといえるでしょう。

しかし、準備とは決して楽なものではありません。時には途中でやめてしまいたいという気持ちになることもあるでしょう。そこで続けられるかは、思いがあるかどうかだと思えます。仏事に目を向けると法事もその一つです。菩提寺との日時の調整、親族への連絡、祭壇の荘厳、会席の手配など準備することがたくさんあります。それでも故人への思いがあるからこそ一生懸命準備をしてその日を迎えられるのでしょう。そして、思いがあるからこそ終わった後、「良かったな」と思えるのでしょう。

私自身、法事に向くと「この日のために色々と準備をしてくださりありがとうございます」という気持ちになります。それは準備をしてくださった方の思いを感じられるからだと思います。自分が準備をする時も出来る限り思いを込めて取り組みたいものです。

日常の仏教用語集

「祈禱」

祈願、祈念、祈請ともいう。仏さまの冥助を仰いで除災招福を祈ること。仏力の加護を求め種々の功德を勧めることにより、除災できると考えられた。

「大丈夫」

現在では「たしかに」とか「あぶなげない」という意味で使われるが、もとは「立派な人」「偉大な人」という意味。そのため、どんな人でも分け隔てなく救ってくださる菩薩さまを「大丈夫」と呼んでいたようである。

「阿伽」

客の接待に供せられた水。転じて仏前に供える水の器の意となった。



餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日（於 薬師堂）

毎月8日 午前10時～（8月はありません。）

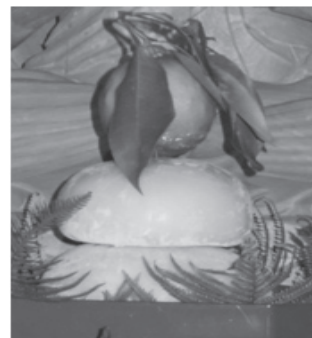
護摩供養をしています。

ご祈祷のお申し込みは随時納経所へお願いします。

観音縁日（於 本堂）

毎月18日 午前8時～

みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽にお参りください。



新年の各種授与品は回廊にて！初詣の際はお立ち寄りください。

第十八回上寺山両詣りライトアップ

豊原北島神社と餘慶寺が隣接する上寺山では、行く年と来る年に願いを込めて、神と仏にお詣りができ、両方のおかげをいただけることから「両詣り」と名付けていろいろな行事を実施しています。

餘慶寺では古いお札のお焚き上げ、除夜の鐘撞き、八角堂での楊濯頂（お清め）、薬師堂での護摩祈祷などがつとめられます。特に新年が厄年に当たる方や、本命星が厄運の方は、護摩祈祷での厄除けや方位除けをおすすめいたします。

また、今年もカウントダウンイベントとして願い事を書いた白い風船を夜空へ飛ばします。あたたかい無料接待やフリーマーケットの年越しそばなども用意し、皆様のお詣りをお待ちしております。詳しくは、配布しておりますチラシをご覧ください。

年末年始、上寺山へ是非ともお詣りください。



平成 30 年 厄年一覧

男性			女性		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
24 歳 平成 7 年生	25 歳 平成 6 年生	26 歳 平成 5 年生	18 歳 平成 13 年生	19 歳 平成 12 年生	20 歳 平成 11 年生
41 歳 昭和 53 年生	42 歳 昭和 52 年生	43 歳 昭和 51 年生	32 歳 昭和 62 年生	33 歳 昭和 61 年生	34 歳 昭和 60 年生
60 歳 昭和 34 年生	61 歳 昭和 33 年生	62 歳 昭和 32 年生	36 歳 昭和 58 年生	37 歳 昭和 57 年生	38 歳 昭和 56 年生
歳は男女とも数え歳です。厄除けのご祈祷をお申し込みください。			60 歳 昭和 34 年生	61 歳 昭和 33 年生	62 歳 昭和 32 年生

平成30年 年回表

五十回忌	三十三回忌	二十七回忌	二十五回忌	二十三回忌	十七回忌	十三回忌	七回忌	三回忌	一周忌	年回
昭和四十四年	昭和六十一年	平成四年	平成六年	平成八年	平成十四年	平成十八年	平成二十四年	平成二十八年	平成二十九年	寂年

古いお札、だるま、お守りを
年末になりましたら
お焚き上げいたします。
本堂へお持ちください。

餘慶寺寺宝展のご報告

平成二十九年十月十五日（日）、第十五回目の餘慶寺寺宝展が開催されました。当日は雨模様ではありましたが、修復された両界曼荼羅図をはじめとする多くの寺宝を一目見ようと多くの参拝客が訪れました。午後からは岡山県立博物館統括学芸員の中田利枝子先生による両界曼荼羅図についての特別講演会や「おせっかいばあば」天明さんによるミニコンサートが行われ、六十名を超す方が聴講にいられていました。皆さまそれぞれが何かしらの功德を得られたことと思います。

また、今城コミュニティによる各種出店や寺庭婦人による「もみじカフェ」なども行われ参拝いただいた方にご利用いただけたかと思えます。

末筆になりますが、開催にご尽力いただきました方々に改めて御礼申し上げます。



薬師堂からのお知らせ

薬師堂の護摩供養

十二月三十一日（日）二十一時～翌二時半
一月一日（月）二日（火）十一時～十六時
年末年始の両詣りの際に厳修します。
護摩供養では、皆様の煩惱を焼き浄め、厄災を消除します。厄除け・方位除け・家内安全などのご祈禱をいたします。お申し込みは納経所・山内各院へお願いいたします。

両詣りの際には、薬師堂にて受け付けております。

「方位除け」のすすめ

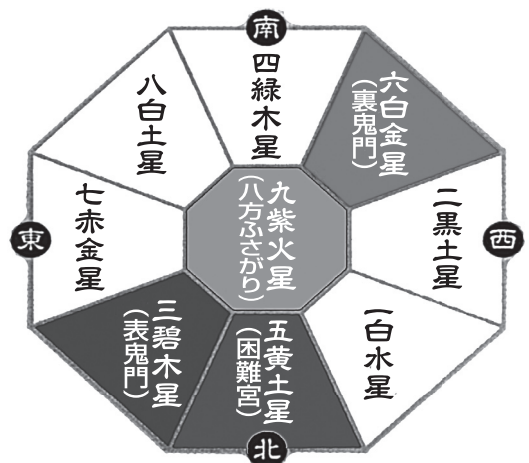
「方位除け」は人が生まれながらに持っている本命星が、その年にどの方向に位置しているかで一年の吉凶を占うものです。

今回の両詣りからご祈禱をお受けいただけます。下図をご確認いただき、「八方ふさがり」「表鬼門」「困難宮」「裏鬼門」の年齢に当たる方は年回りが良くなる特に注意しなければならぬため「方位除け」のご祈禱をおすすめします。

平成30年方位除け一覧表

中央(八方塞がり) 九紫火星	北東(表鬼門) 三碧木星	北(困難宮) 五黄土星	南西(裏鬼門) 六白金星
昭和3年生	昭和9年生	昭和7年生	昭和6年生
昭和11年生	昭和18年生	昭和16年生	昭和15年生
昭和21年生	昭和27年生	昭和25年生	昭和24年生
昭和30年生	昭和36年生	昭和34年生	昭和33年生
昭和39年生	昭和45年生	昭和43年生	昭和42年生
昭和48年生	昭和54年生	昭和52年生	昭和51年生
昭和57年生	昭和63年生	昭和61年生	昭和60年生
平成3年生	平成9年生	平成7年生	平成6年生
平成12年生	平成18年生	平成16年生	平成15年生
平成21年生	平成27年生	平成25年生	平成24年生
平成30年生			

平成30年本命星方位図(方位除け)



毎月十八日は観音縁日。

午前八時より観音經を読誦します。

毎月第二日曜日 午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

餘慶寺境内紹介

『八角堂の天井絵』

前号のこのコーナーで八角堂をご紹介しましたが、その八角堂の天井には、きれいな花の絵が描かれています。

描かれている花は、上寺にちなんだもので、桜、紫陽花、山吹、蘭、蓮、すいれん、梅、椿、そして四隅には仏教美術で用いられる宝相華^{ほうそうげ}。京都修復美術の久安勝士氏によって一枚一枚手描きされました。同じ桜でも、ソメイヨシノや八重桜など、ひとつとして同じ絵はありません。

「永遠に枯れない花をお供えしましょう」という趣旨のもと、八角堂建設当初から皆様に絵の奉納をお願いしてまいりましたが、この程六十一口すべてご奉納いただきました。願旨（おねがいごと）と施主（おなまえ）を、餘慶寺住職が心をこめて墨書しております。ご奉納くださった皆様のお気持ち花とともに永く後世に伝わることでしよう。

お参りの際にはぜひ天井を見上げて、好きな花を探されるもよし、お知り合いの方のお名前を探されるもよし、どうぞゆっくりご覧ください。でも足下にはくれぐれもご注意を。



よけいじ寺子屋だより

会場 餘慶寺会館（十四時〜）

寺子屋写真館



今後の予定

☆『年の始めに思うこと』

講師 吉祥院住職

一月十四日（日）
大石恵海師

☆『落語講演』

講師 岡山大学落語研究会

一月二十七日（日）
二名様

☆『未定』

講師 大賀島寺住職

二月三日（日）
木村真尚師

☆『地獄のはなし』

講師 定光院・円乗院住職

二月十七日（土）
西野祐聖師

☆『上寺山餘慶寺略縁起と豊原庄の考察』

講師 黄嶽^{きび}の会代表

三月十日（日）
丸谷憲二先生

☆『お葬式のはなし』

講師 本乗院住職

三月十七日（土）
小林周伸師

※どなたでも聴講可能です。（無料）
お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

編集後記

今年もあっという間に年の瀬が迫ってきました。寒さが厳しくなってきたためストーブなど出されている方も多いと思います。ただ、乾燥し過ぎないように気をつけたいと思わぬ脱水症状になるそうです。こまめに水分補給をして健康に新年を迎えましょう。